

報道関係各位

株式会社角川アスキー総合研究所

完全未開封の初代IBM PCを発掘！ 初期のPC、DOS/V、ThinkPadを語り尽くすセミナーを開催 ＜2018年8月12日(日)12時30分から 主催:角川アスキー総合研究所＞

完全未開封の初代IBM PCが発掘されました。株式会社角川アスキー総合研究所(本社:東京都文京区、代表取締役社長:芳原世幸)は2018年8月12日(日)、米国ネットオークションeBayにも出品されたことがないといわれる、この初代IBM PCを箱から取り出して電源を入れ、初期のPC、DOS/V、ThinkPadを語り尽くすセミナーを開催します。



初代IBM PC (IBM 5150 Personal Computer)は1981年に発売され、2018年現在も世界中の企業や家庭で、あるいはインターネットサーバーとして数億台以上が稼働していると思われる「IBM PC」の原点です(スペックはp.4参照)。本イベントは、初代IBM PCの発売後、ThinkPadなどのIBM PCを開発した日本アイ・ビー・エムの大和事業所のエンジニアやDOS/V企画者、デザイナー、テクニカルライターをお招きし、初期のPCのデザイン、キーボード、ハードウェアについて語り尽くします。初代IBM PCに電源を入れる「開封の儀」、関係者らが持ち寄った歴史的なハードウェアの展示や一部稼働体験会も計画しています。

UNBOXING THE PC

初代IBM PC開封の儀



登壇者17名！
初期のPC、DOS/V、ThinkPadの
担当者たちが語り尽くす

2018
8.12
(日曜)
東京・飯田橋
12:30
|
21:00

本イベント後、初代 IBM PC を米国 eBay に出品予定です。値段はいくらになるのか、参加者と予想したいと考えています。参加者には、初代 IBM PC にまつわる『月刊アスキー』の関連記事をまとめた記念アーカイブ冊子(非売品)を進呈する予定です。

また、本イベントはメディアの方々による取材についても積極的に受け付けております。ご希望の方は下記の連絡先までご相談・お申込みください。是非とも御媒体にてお取り上げくださるよう、お願いを申し上げます。

イベント詳細ページはこちら：
<https://lab-kadokawa59.peatix.com/>

開催概要

- イベント名： UNBOXING THE PC／初代IBM PC開封の儀
～登壇者17名！初期のPC、DOS/V、ThinkPad の担当者たちが語り尽くす～
- 主催： 角川アスキー総合研究所 [共同プロデュース:竹村譲氏、スペシャル協力:福山敏博氏]
- 日時： 2018年8月12日(日)12時30分～21時00分(受付開始／開場は12時から)
- 会場： 角川第3本社ビル(東京都千代田区富士見1-8-19)
地図： <http://ir.kadokawa.co.jp/company/map/fujimi03.php>
- 参加費： 6,500円(税込) ※飲み物と軽食をご用意しています。
- 定員： 75名(予定) ※参加者には記念冊子を進呈します。
- 対象： PCの歴史、デザイン、キーボードに関心のある方、IBM PCファン
エンジニア、エンジニア志望の学生の方
- 詳細・お申込み： <https://lab-kadokawa59.peatix.com/>

内容(予定)

- 12:30 開会&会場説明
- 13:00 PC のデザインと ThinkPad
- 14:00 初代 IBM PC 開封の儀
- 14:45 休憩
- 15:00 ハードウェアとしての ThinkPad
- 16:00 ThinkPad といえばキーボード
- 16:30 DOS/V いまだから話せること
- 17:30 予備・休憩
- 18:00 IBM PC endless forever unlimit
- 19:00 懇親会

登壇者(順不同)

石田健氏(アイネット株式会社代表取締役、元アルプス電気株式会社)

浦野義朗氏(元キヤノン販売株式会社(現キヤノンマーケティングジャパン)コンピュータ販売企画部部長)

笠原一輝氏(テクニカルライター)

加藤徳義氏(株式会社バンドワゴン・プロデューズ代表取締役、PC市場開発担当、米国のIBM PC Company HQに出向など)

塩田紳二氏(フリーランスのテクニカルライター)

竹村讓氏(熱中小学校特任用務員、元日本IBM PC市場開発、DOS/V企画者の一人でモバイル戦略を担当)

中林千晴氏(APRESIA Systems株式会社次世代技術本部副本部長、元日本IBM株式会社PC事本部デスクトップブランドマネージャ)

水居徹氏(アイコムティ株式会社代表取締役、元株式会社東芝コンピュータ事業部)

西川和久氏(テクニカルライター/カメラマン、CFCComputing代表取締役)

羽鳥正彦氏(日本IBM、大和研究所にて、PC-JX、PS/V、ThinkPadシリーズのソフトウェア開発を担当)

檜山竹生氏(株式会社エイビット代表取締役社長)

藤本司郎氏(APRESIA Systems株式会社代表取締役会長、元ワークステーション製品企画 (DOS/V発表当時))

福山敏弘氏(株式会社ドライブ代表取締役、元マイクロマウス株式会社代表取締役)

堀内光男氏(チコニーエレクトロニクスジャパン株式会社テクニカルシニアアドバイザー、元レノボ・ジャパン、サブシステム技術)

前田一樹氏(グラフィックデザイナー・リサイクルブラマークデザイナー)

松永活也氏(元株式会社ライオスシステム第二開発部)

山崎和彦氏(千葉工業大学教授)

遠藤諭(角川アスキー総合研究所首席研究員)



初代 IBM PC

基本的スペック

- CPU:i8088(動作クロック周波数は 4.77MHz)
- メインメモリ:標準 16KB(最大 256KB)
- ROM:40KB
- サイクル・タイム:メインメモリ 410 ナノ秒(アクセスタイム 250 ナノ秒)
- 表示文字数:80 文字×25 行(ハイライト、リバーズ、アンダーライン、ブリンクなどのモードを持つ)で、256 の文字種を表示
- カラー:テキストモードでフォアグラウンド 16 色、バックグラウンド 8 色、ドットグラフィックで 4 色(4 色×2 セットのうち1セットを選ぶ)の場合 320×200 ドット、モノクロは 640×200 ドット
- 標準装備:キーボード、カセットインターフェイス、拡張カードスロット×5、スピーカー、パワーオン=セルフテスト機能、BASIC インタプリタ
- サイズ:20(W)×16(D)×5.5(H) インチ
- 重量:ディスクなし 21 ポンド、ディスク1台 25 ポンド、ディスク 2 台 28 ポンド(ディスク=ディスクett)
- ディスク(フロッピー)ドライブ:システムユニット内に 2 台まで 5.25 インチ(容量 160KB)ドライブを実装可能
- キーボード:20(W)×8(D)×2(H) インチ、6 ポンド、83 キー
- 周辺装置:IBM Matrix Printer(信州精機 MP-80 をベース)、ゲーム用コントローラを接続、通信インターフェイスを本体スロットに装着して大型機短筒として使用可能
- 価格:1,565ドル～



初代 IBM PC の保管されていた倉庫のようす。



米国 eBay にも出たことがないとされる完全に未開封の初代 IBM PC の箱。JALCARGO のラベルが見える。



やはり一緒に保存されていた純正モニター。



一緒に保存されていたキーボードの中身。本体も同等の良い状態であることが予想される。

参考記事

ASCII.jp プログラミング+ 文:遠藤諭(角川アスキー総合研究所)

「世界を動かしている PC の原点に触れてみないか? 1981 年発売の初代 IBM PC の未開封品が日本で発掘された」

<http://ascii.jp/elem/000/001/709/1709255/>

ASCII.jp プログラミング+ 文:遠藤諭(角川アスキー総合研究所)

「8/12 DOS/V と ThinkPad のエンジニアが一堂に会するイベント開催」

<http://ascii.jp/elem/000/001/715/1715266/>

本イベントに関するお問い合わせ・取材のお申込みについて:
株式会社角川アスキー総合研究所 担当:渡部(わたべ)
mail: seminar@lab-kadokawa.com TEL:03-5840-7800